

【ポスターセッション】

認知症の特性を有する知的障害者のケアの動向と課題に関する研究

ー海外と日本の文献レビューからの検討ー

○武蔵野大学 氏名 木下 大生 (006306)

キーワード3つ：知的障害，ダウン症，認知症特性

1. 研究目的

ダウン症者や知的障害者の認知症に関する先行研究は大別して3点，すなわち，疫学，知的障害者用認知症判別尺度開発（以下，尺度開発），認知症特性が現れた人へのケアのあり方や方法（以下，ケア方法），に分類できる．

疫学研究では，ダウン症者は50歳で40%，60歳では70%の人が認知症に罹患していること，及び一般の人よりも早期に認知症に罹患することが報告されている(Nagdee:2011)．

尺度開発では，多くの知的障害者用認知症判別尺度の作成の試みがされてきており，現在では，本人記入が79種類，観察者記入が35種類，計114種類存在すると報告されている(Zeilinger et.al:2013)．

しかし，認知症に罹患した知的障害者に対する根拠のある包括的ケアやサービスについての情報は殆どなく，課題が山積しているにもかかわらず課題が未整理な分野であることが指摘されている(Janicki et.al:2003)．そこで本研究では，認知症に罹患した知的障害者のケアに関する先行研究の整理とケア課題を明らかにし，認知症特性を有する知的障害者のケア研究の方向性を示すことを目的にした．

2. 研究の視点および方法

研究方法は，日本語文献検索，海外文献検索によって行った．使用データベースは，日本語文献の検索は，Ciniiと医中誌Webの2つのデータベースを，海外文献は，Academic Search Eliteを利用した．検索は2015年1月17日～2015年1月23日において行った．

3. 倫理的配慮

一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理指針の「引用」などにかかわる規定を順守した．

4. 研究結果

日本語文献検索では，検索ワードを「知的障害」「認知症」の2点に絞り検索した．結果，Ciniiと医中誌Webで認知症に罹患した知的障害者に関連する文献が145件の先行文献が検出され，ケア関連の論文のみを抽出した結果計9件を検討の対象とすることにした．

海外文献は，Academic Search Eliteを利用し，検索は3つのワード，2種の組み合わせ①「Intellectual Disability」「Dementia」「Care」，②「Intellectual Disability」

「Dementia」「Social Work」で行った結果、①はヒット件数が199、②は21件であった。検出された論文で重複しているものを除き、残ったもののAbstractの内容を確認した結果37件の論文を検討の対象とした。

選定した文献内容を類型化した結果、認知症特性を有する知的障害者のケアに関連するものは6つのカテゴリー、1) グループホームにおけるケア、2) ケアの時間の比較、3) 居住移動の回数、4) 終末期ケア、5) ケアの評価のあり方について、6) 認知症特性がある人のグループホーム同居者への影響について、に分類された。

それぞれの具体的な内容は、1) は高齢知的障害者のケアをしているスタッフは専門的な認知症の知識を身につけておらず一般常識の範囲での知識で対応していること、2) はケアの時間が長くなるとする結果とケアの時間は変わらないとする研究報告がそれぞれあった。3) では知的障害者施設入所者は、老化に伴い動きが緩慢になったり、認知症に罹患することで施設を退所しなければならない例が多くみられたことが示されていた。4) では認知症特性を有する知的障害者の終末期ケアについての知識と備えが不十分であることが指摘されていた。5) はケア評価を行った結果、専門的な知識に基づいたケアの提供ではなく、その場しのぎの対応になってしまっていることが指摘されていた。6) ではケアの質やその評価とは内容が離れるが、グループホームで認知症特性が生じている知的障害者と同居する利用者も、なぜ同居者に変化が起こったのかが分からず、スタッフと同様に心理的負担が大きいことが指摘されていた。

5. 考 察

認知症の特性を有する知的障害者のケアに関する先行研究レビューから浮かび上がってきたことは、この課題に関する研究は蓄積が海外、日本ともに少ないこと、また系統だった研究が行われていないということである。そのため、認知症特性を有する知的障害者のケア研究を実践現場に有効に活用されるためには、まず、実践現場における具体的な課題の整理をすることが必要であると考えられる。

【文献】

- Janicki, M. P., McCallion, P. and Dalton, A. J. (2003) Dementia-Related Care Decision-Making in Group Homes for Persons with Intellectual Disabilities, *Journal of Gerontological Social Work*, 38(1-2), 179-195.
- Nagdee, M. (2011) Dementia in Intellectual Disability: a review of diagnostic challenges, *African Journal of Psychiatry*, 14(3), 194-199.
- Zeilinger, E. L., Stiehl, K.A. and Weber, G. (2013) A Systematic Review on Assessment Instruments for Dementia in Persons with Intellectual Disabilities, *Research in Developmental Disabilities*, 34(11), 3962-3977.